事務局報告

①排水路合流部沈砂池

釧路開発建設部　農業部門

1.1 排水路合流部沈砂池のモニタリング概要

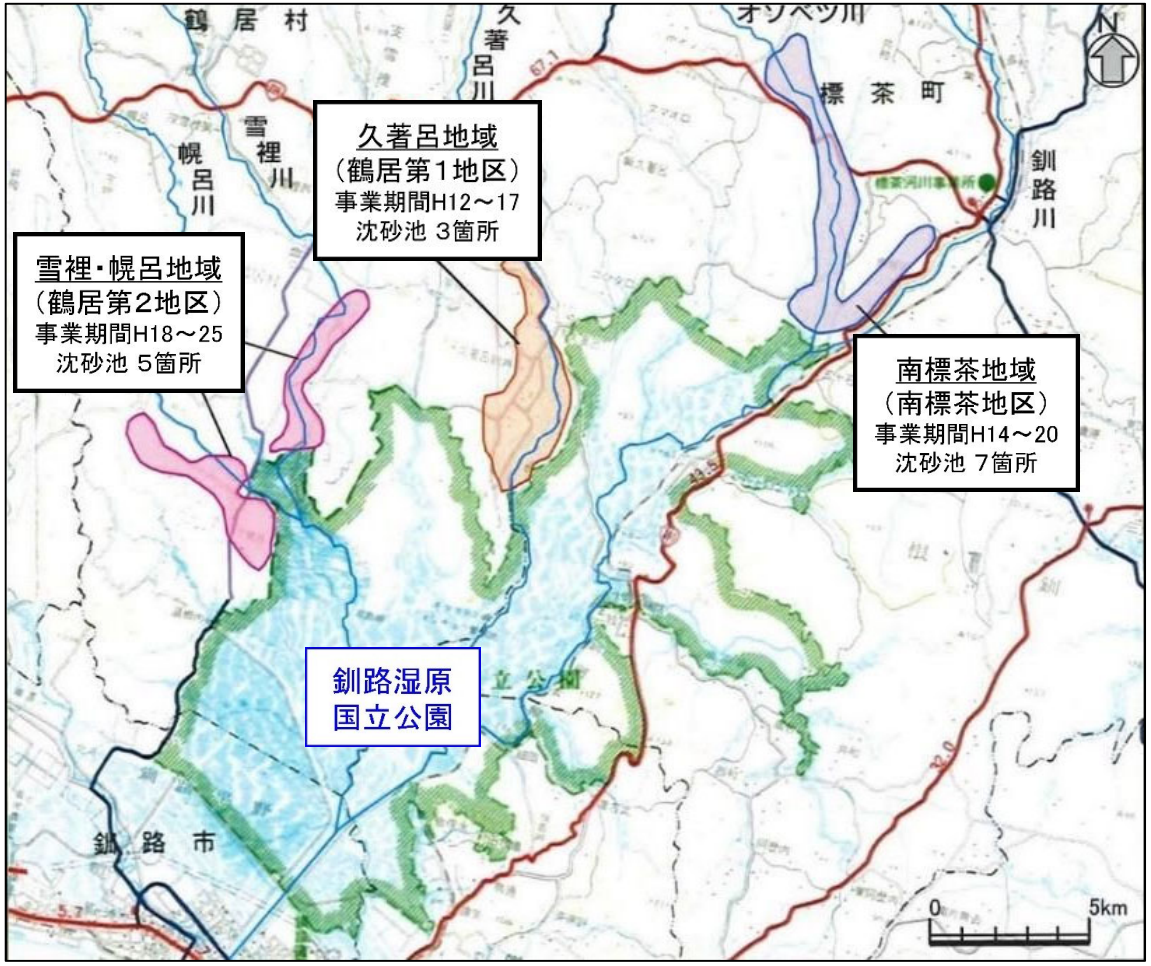
釧路川流域内で実施された国営総合農地防災事業では、農業用排水路の河川合流地点に沈砂池を設置し、下流域への土砂流入対策を行っている。

○土砂流入対策の実施状況

国営総合農地防災事業では、農業用排水路から河川に合流する手前に、沈砂池の整備が行われている。

現在、標茶町及び鶴居村が管理主体となり、地域の農業者団体と連携しながら、土砂上げ等の施設管理及び土砂堆積のモニタリングを実施中。

<鶴居第１地区２号沈砂池>



＜ 釧路湿原と国営総合農地防災事業区域 ＞

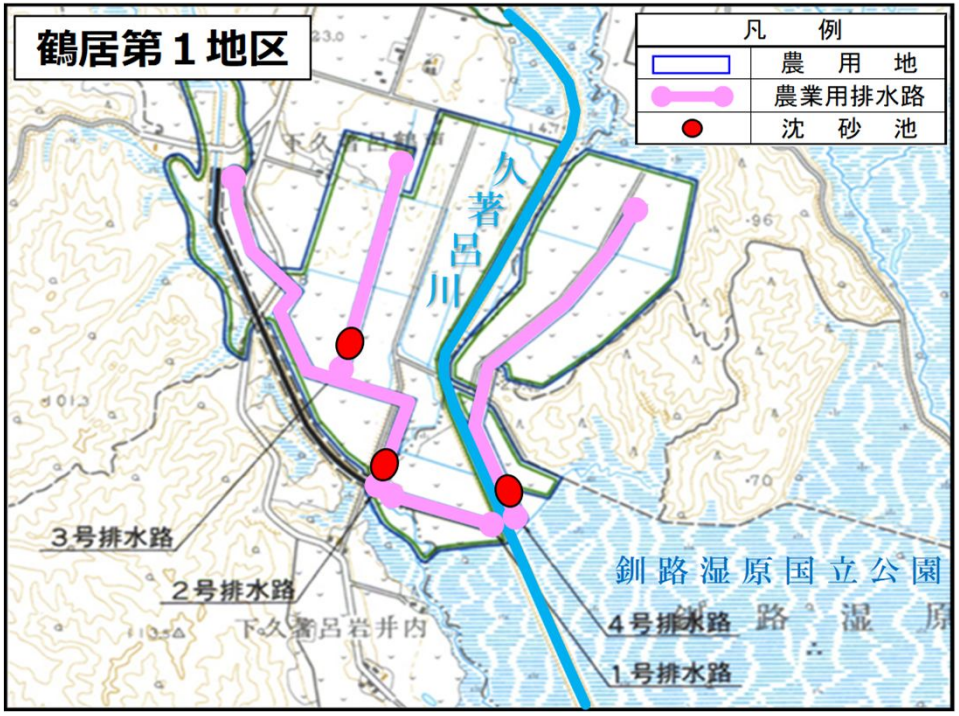
1.2 排水施設の管理状況（鶴居村～１）

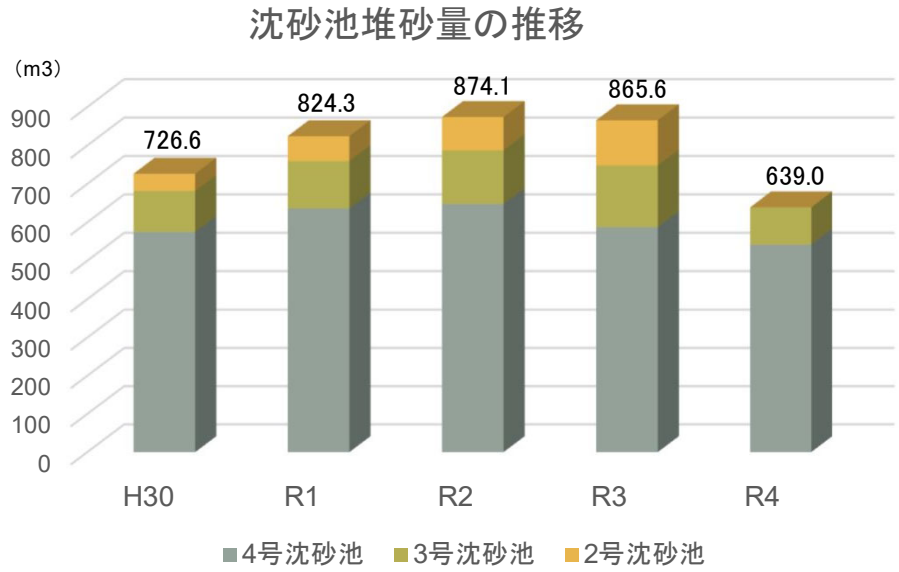
◎維持管理状況（鶴居第１地区）

排水施設の土砂上げ実施年及び沈砂池の土砂堆積状況

	施設名	H30	R1	R2	R3	R4
排水路	1号排水路	○	○			
	2号排水路		○		○	○
	3号排水路		○			○
	4号排水路	○			○	○
沈砂池堆砂量（m3）	2号沈砂池	45.1	64.8	86.9	117.4	0.0
	3号沈砂池	106.9	123.2	139.6	160.6	97.0
	4号沈砂池	574.6	636.3	647.6	587.6	542.0
	合計	726.6	824.3	874.1	865.6	639.0

※ 排水路欄の○表記は、土砂上げ作業の実施状況となります。
沈砂池堆砂量は、各年秋頃の計測値となります。





○排水施設の維持管理状況

- 地区内の排水本線（４条）及び排水路合流地点に設置された沈砂池３箇所について、施設管理者から維持管理状況の聞き取り及び沈砂池の土砂堆積量の計測を実施している。
- 令和４年は、施設管理者により、排水路及び沈砂池の一部で土砂上げが行われており、堆砂量の減少がみられている。
- 令和３年までの堆砂状況（全３箇所）として、平成30年からの３ヵ年の堆積量の増加分を年換算した場合、46.3㎥/年規模の土砂が補捉されている結果となり、概ね計画した機能が発揮されていると評価している。

865.6（R3） －726.6（H30） ＝ 139.0㎥

139.0 ÷ ３年 ＝ 46.3 ㎥/年　年間 46.3㎥の堆積量

1.3 排水施設の管理状況（鶴居村～２）

◎維持管理状況（鶴居第２地区）

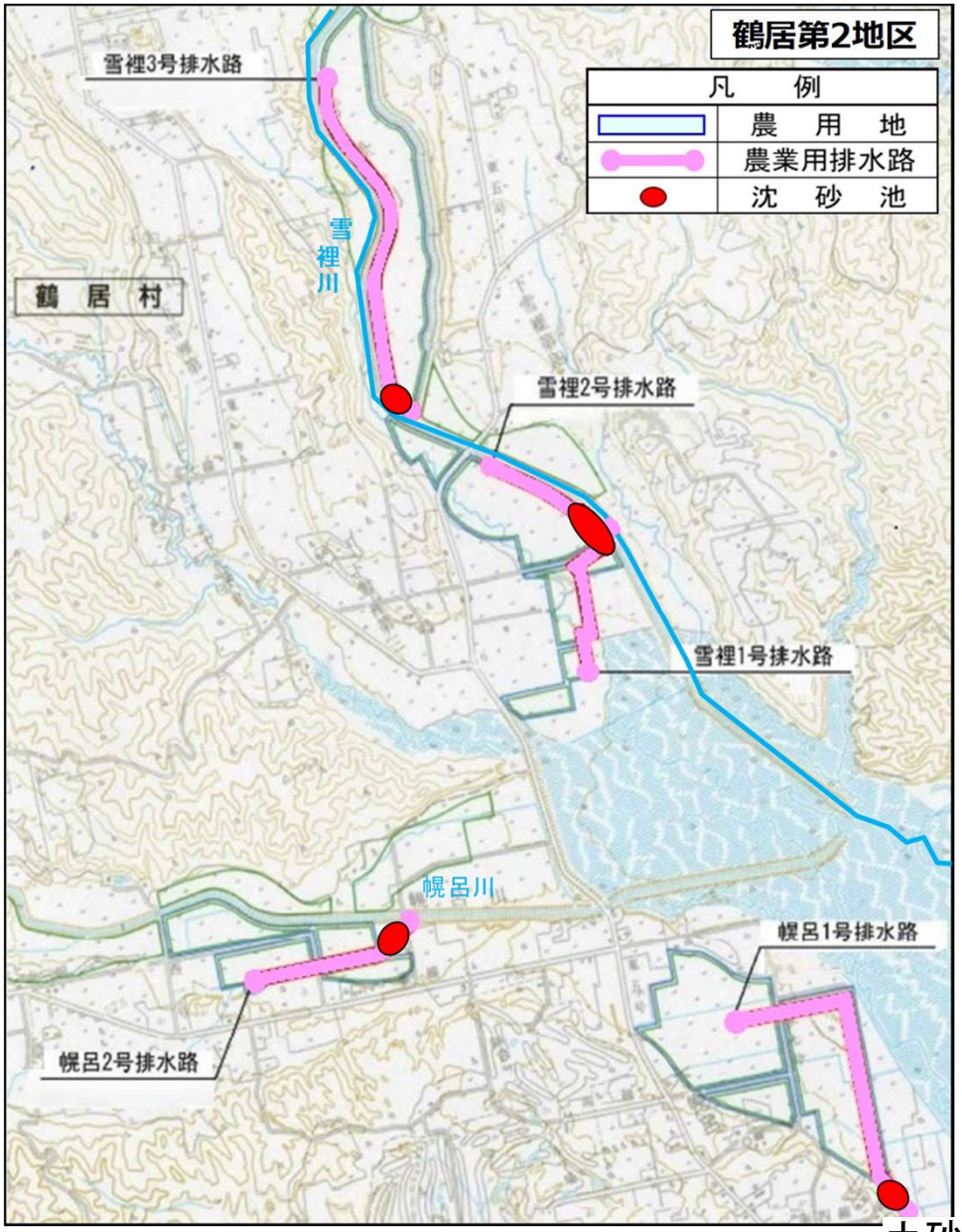
排水施設の土砂上げ実施年及び沈砂池の土砂堆積状況

排水路名		H29	H30	R1	R2	R3	R4
排水路	雪裡1号排水路			○			
	雪裡2号排水路			○			
	雪裡3号排水路	○					
	幌呂1号排水路	○		○			
	幌呂2号排水路						
堆積量（m3）	雪裡1号沈砂池						936.0
	雪裡2号沈砂池						579.0
	雪裡3号沈砂池						116.0
	幌呂1号沈砂池						644.0
	幌呂2号沈砂池						162.0

※　排水路欄の○印水路本線及び沈砂池の土砂上げ実施年度

○排水施設の維持管理状況

- 地区内の排水本線及び沈砂池（５施設）について、施設管理者からの維持管理状況の聞き取り及び沈砂池の土砂堆積量の計測を実施している。（沈砂池に関しては、今後の定量的評価を行うため令和４年より計測を行っている。）
- 排水施設の土砂上げは、施設管理者による巡回点検を踏まえ適宜実施されていたが、令和２年以降は、雪裡川本線から沈砂池側への逆流（土砂流入）の影響から、沈砂池の状況確認のみ実施している。



1.4 排水施設の管理状況（標茶町）

◎維持管理状況（南標茶地区）

排水施設の土砂上げ実施状況

排水路名	H29	H30	R1	R2	R3	R4
シロンド排水路						
クニクンナイ排水路				544		※2
五十石第1排水路						
五十石第2排水路						
中オソベツ排水路						
ルルラン第1排水路	231	215	290		263	
ルルラン第2排水路						

※1 記載値は、排水施設の土砂上げ作業量（m3）

※2 令和4年度は、クニクンナイ排水路の土砂上げを令和5年2月に実施予定

<排水路の維持管理状況写真>

○排水施設の維持管理状況

- 地区内の排水本線及び沈砂池（７施設）について、施設管理者からの維持管理状況及び土砂上げ量の聞き取りを実施している。
- クニクンナイ排水路及びルルラン第１排水路は、流域内に位置する農地上流の自然河川からの土砂流入が顕著となっており、施設管理者及び地域の営農者により巡回点検及び土砂上げが適期におこなわれている。

  なお、それ以外の排水施設は、主な農地利用が牧草となっていることもあり、沈砂池の土砂堆積が見られない状況が継続している。